

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-42	令和4年度「第1回墨田区がん対策推進会議」		
開催日時	令和4年8月30日(火) 午後1時半から午後3時まで			
開催場所	墨田区役所2階21会議室			
出席者数 (19人)	<p>【外部委員】渡邊清高、五嶋孝博、都野晋一、鴨川大助、武井和彦、森信之、桜井なおみ、佐藤文子、椎名美恵子、駒場誠弥、高木恒子、風間利昭(敬称略)(計12人)</p> <p>【内部委員】保健衛生担当次長、向島保健センター所長、保健予防課長(計3人)</p> <p>【事務局】保健計画課長、保健計画課健康推進担当主査2人、保健計画課健康推進担当主事2人(計5人)</p>			
	公開(傍聴できる)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
	非公開(傍聴できない)			
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員及び関係課長の紹介 3 墨田区がん対策推進会議及び専門部会の概要について 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 墨田区のがんを取り巻く現状について (2) 令和4年度がん対策事業の実施予定について (3) その他 5 閉会 			
配布資料	<p>【机上配布資料】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「墨田区がん対策推進会議」委員名簿 2 令和4年度「墨田区がん対策推進会議」の概要 3 令和4年度 墨田区がん対策推進会議「がん検診精度管理部会」の概要 4 令和4年度 墨田区がん対策推進会議「たばこ対策部会」の概要 5 墨田区のがんを取り巻く現状(最新データ) 6 各がん検診の月別実績(令和元年度~令和3年度比較) 7 令和4年度がん対策事業の実施予定について 8 ご意見・ご質問シート 			

<p>会 議 概 要</p>	<p>1 開会</p> <p>2 委員及び関係課長の紹介 (省略)</p> <p>3 墨田区がん対策推進会議及び専門部会の概要について 資料2～4に基づき、事務局より説明</p> <p>4 議事 (1) 墨田区のがんを取り巻く現状と各がん検診の実績について 資料5に基づき、事務局より説明。</p> <p>【意見・質問等】</p> <p>渡邊会長：年度別の年齢調整死亡率の数値は変動が大きいため、10年単位で推移を見ないと傾向が分からないが、東京都の東部地域はがんの死亡率が比較的高いと言われている。 また、検診についてはコロナの影響もあると思われるが、受診率を上げていかなければならないと考える。 民生委員の高田委員に伺いたい。民生委員の立場からどのような働きかけをすればがん検診を受ける気になるかご意見はあるか。</p> <p>高木委員：検診結果を簡単に提出できる制度があればいいのに、と思う。 長いこと他の地域の同じ病院・同じ先生にかかっていると区の検診を中々受けないかもしれない。</p> <p>渡邊会長：検診結果の共有、職域連携は大事だと思う。 在宅緩和ケアの現状について駒場委員に伺いたい。</p> <p>駒場委員：在宅死亡率の高さについて、コロナの影響もあると思うが、墨田を往診エリアとする在宅訪問診療クリニック等が増えてきていると感じる。 病院の立場からすると、面会制限があるため緩和ケア病棟に入ったとしても、「最期だけはご自宅で療養しませんか。」ということをクリックの医師と連携し提案もしている。データでは1年間で約280人の入院に対し、1割以上の方がご存命のまま、最期はご自宅で亡くなっている。 このような複合的な理由から数値が上がっているのではないか。</p> <p>渡邊会長：ご本人の希望に応じて、在宅の見取りができるということは強みだと思う。</p> <p>(2) 令和4年度がん対策事業の実施予定について 資料7の個別目標1に基づき、事務局より説明。</p> <p>【意見・質問等】</p> <p>渡邊会長：薬剤師会森委員、禁煙医療費補助事業や、薬剤師会の状況についてお聞かせいただきたい。</p> <p>森委員：禁煙サポート薬局の新規募集をして、昨年と同数の応募があった。(禁</p>
----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

煙治療薬)チャンピックスがまだ流通してきていない。他の方法での禁煙方法について、周知していきたい。

渡邊会長：こどもの受動喫煙を防止するには、妊産婦への禁煙指導が重要となるかと思うが、それについて歯科医師会としてお気づきの点はあるか。

武井委員：以前と同じだが、歯周病とたばこのパンフレットを妊娠中・産後の母子歯科健診や幼児歯科健診の際に、保護者に渡して指導している。

鴨川委員：妊産婦歯科健診でも成人歯科健診でも禁煙指導をしているが、妊産婦の出産後健診は受診率が低い印象。

コロナで母親への対面方式による指導を中止しているので、妊産婦のみならず禁煙指導を拡充していきたい。

桜井委員：コロナの影響が散見されるが、ワクチン接種など自治体のHPを閲覧する機会が多いと思う。

健康への関心も高まったのではないかと思うが、現場の先生たちはどのように感じているか。

渡邊会長：検診のデータを見ると受診者数など一旦は落ち込んだが、上がってきているものもある。医師会、歯科医師会、薬剤師会の委員の方、コロナの状況を踏まえてどうか。

都野委員：令和元年度に胃内視鏡検査を区で始めたが、2年度は前期が中止、3年度も影響を受けながらやっている。今年5～7月の予約もキャンセルが出た。そういった反面、ワクチンの接種は体制ができています。ワクチンを打つ過程で、自身の健康を気にしないといけないという自覚が芽生えているのではないかと自身を含めて感じる。

そのため、若い無関心層も健康管理について今後期待できるのではないかと考える。

桜井委員：コロナのワクチン接種後の待ち時間についても、健康に関するパンフレット等があるといい。

(3) 令和4年度がん対策事業の実施予定について

資料6の各がん検診の月別実績、資料7の個別目標2に基づき、事務局より説明。

【意見・質問等】

渡邊会長：商工会議所でもがん検診の重要性は周知していると思うが、どのような取り組みをしているか。

風間委員：社長ががんになると影響が大きい。ほとんどの企業が健診・検診を行っているため、これまでは、早期にがんを発見している人が多かったと思う。しかし、最近はコロナの影響もあり、がんになったという話を聞く機会が少なくなった気がする。

(4) 令和4年度がん対策事業の実施予定について

資料7の 個別目標3・4に基づき、事務局より説明。

渡邊会長：五嶋先生、区との協働について墨東病院としてどのようなことが考えら

れるか。

五嶋委員：地域の住民へがん教育については、病院の医師が講演会等を行っている。コロナ禍のため、去年から新たにYou tubeを活用して乳がんや大腸がんに関する講演会を行い、再生数もかなり多かった。

また、学校の生徒に対するがん教育は、院内で20名ほどの医師のチームを作り、出前講座を行っている。江戸川区や江東区の中学校から依頼が来ていて全6校で行った。墨田区からも要望があれば行いたい。

このほか、病院として新しくがんゲノム医療を始めるので行政と協力していきたい。

渡邊会長：現在、国において第4期のがん対策基本計画の議論がされている。その中で、自治体やがんの拠点病院からの住民に向けた情報発信が重要視されているので大事な取り組みだと思う。

がん患者の代表としてご出席いただいている佐藤委員に伺いたい。特に必要な支援や取り組みがあればお話を聞かせていただきたい。

佐藤委員：私は、保健所のがん検診からがんとの付き合いが始まり、4回もがんを患ったがステージは全て0だった。早期発見早期治療が大事なのは身をもって知っているので、検診を受けることはとても大事。

また、予防の1つとして、子どもから父親にたばこをやめろと言われたらかなり効果があると思う。医者やリーフレットよりも家族から言われることは大事なのではないか。

渡邊会長：椎名委員に医療連携や訪問看護の視点でご意見をいただきたい。

椎名委員：墨田の在宅の看取り死のパーセンテージは全国の中でもかなり高いので誇れるところだと思う。パリアンがなくなった後も、在宅での見取りが根付いているから、在宅死率が高い。また、コロナ禍の入院だと、面会が全くできなくなるため、訪問診療をしてくれるなら在宅を選ぶ人も多い。そうした背景も在宅死が増えた要因ではないかと思う。

自分が看ている患者では、重症化するのを対策するために禁煙する人も多くなったように感じる。

ワクチン接種をはじめ、コロナ対策を区が頑張っているところをメディアで見かけることが多いので、区民も自身ができることをしようとする気持ちになるのではないか。

そうしたことから、検診受診率は元に戻ってきているのではないかと思う。

渡邊会長：保健事業に関する施策は連動しているので、いいものは広めていければいいなと考える。

渡邊会長：たくさんの意見に感謝する。次回の会議では、各専門部会の内容について、事務局から報告した上で、皆様のご意見をお伺いしたい。以上をもって、本日の議事はすべて終了となる。

5 閉会

会議の概要は以上である。

所 管 課

福祉保健部 保健衛生担当 保健計画課 健康推進担当 (内線 3 5 3 2)